

平成19年からの地域振興策として、農業・農村資源の環境及び安全・安心な食の質的な保全向上対策が実施されることになりました。

この事業は地域を取り巻く「農地・水・環境」の将来にわたる良好な保全と、質的な向上を図るため、農業者だけに限らず地域ぐるみで取り組む活動に対して支援するというものです。集落などを単位とした共同活動支援と、農業者で行う営農活動支援で、自然環境をブランドとする阿蘇市にとっては、大変重要になる活動の支援策です。

市農政課では「地域の絆」による連携強化、さらには「地域づくり」や「ふるさと再生」へ向けた取り組みを一段と推進するため、今後も座談会を定期的開催し、皆さまにこの事業をよくご理解いただくよう努めますので、お近くで開催の際は必ずご参加ください。



塩塚地区

農地・水・環境保全シンポジウムで内牧の取り組みを事例発表

平成18年度モデル指定(県内24ヶ所が指定)を受け、事業を実践していた内牧のなべづる沿線地区、中通地区ですが、11月29日開催の県主催シンポジウムで内牧の・水路の泥上げ・草刈り・農道の砂利補充などを農家と非農家(集落)で行った共同活動、また営農活動が事例発表されました。今後この2地区を参考に事業が進められます。

九州なかなか地域ブランド交流シンポジウム開催



11月17日、大分県竹田市で、九州なかなか地域ブランド交流シンポジウムが開催されました。自然豊かな地域資源に恵まれている阿蘇市・大分県竹田市・大分県豊後大野市が県境を越えて連携し、魅力ある「地域ブランド」をつくり外部に発信していくことが目的。「地域ブランド力」を核とした地域振興策と連携を考えようと、東京大学大学院西村幸夫教授が「観光まちづくりの新しい展開」について講演。また、「阿蘇・竹田・豊後大野の地域ブランドづくり」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。今後も3市が連携して「人の交流」を図り、パック旅行などの商品化へと展開していく予定です。



平成18年度道路河川環境美化コンクール

道路河川の保安全管理と環境美観の機能向上を目的として、平成18年度道路河川環境美化コンクールを実施しました。22団体の応募があり、10月13日には、地元高校生4人、市民3人を含む11人で評価審査が、現地視察と6月から9月までの季節感を写した写真により行われました。どの地域も手の届いた管理が行われており僅少で審査は難航しましたが、以下のとおりの結果となりました。参加団体には、11月2日、佐藤市長より表彰状と記念品が手渡されました。



最優秀賞 おごもり花公園
優秀賞 跡ヶ瀬のぎくの会、 狩尾西産水会

最優秀賞を受賞したおごもり花公園の管代表は「雑草が交通の妨げになっていたため、草刈をしたところ景観がよくなった。その後町を元気にしようと花植えを始め、地域の宝を磨きはじめてところ、さらに景観がよくなり観光客も増えた。今後も参加された団体の方とともに広域で地域の宝を磨き、世界の阿蘇として誇れるよう継続してやっていきたい。」とコメント。